

株式会社益正グループ

★宿泊業、飲食サービス業 福岡地区 ★地下鉄赤坂駅より徒歩5分

◎住所:福岡市中央区赤坂1-4-21 K1赤坂ビル4F ◎設立:1996年(平成8年)4月 ◎資本金:5,000万円 ◎正社員数:38名
◎TEL:092-718-0883 ◎事業所:福岡県 ◎HP:http://www.masumasa.jp/

居酒屋「益正」、野菜を主役にしたダイニングバー「在。(ある)」をはじめ、鍋、カレー、麺、スイーツ、卵専門店、カフェなどを含めた全11業態19店舗を展開中。通販事業や食品の卸し、販売のほか、経営コンサルティングなども行っている。今後は農畜産物の生産・加工販売にも注力していく。

採用実績データ	2013	2014	2015
過去3年新卒採用実績	-	5名	6名
過去3年中途採用実績	2名	4名	4名



中途採用窓口	17年採用窓口	年間休日	残業時間	初任給	平均年齢	平均勤続年数
開設中	開設中	107日	30~40時間(月平均)	19.3万(大卒)	35.0歳	7.0年

●●● 私たちの宣言内容 ●●●

- 社内報への掲載、個別ヒアリングの実施により、育児休業制度の周知および取得の促進に努めます。
- 短時間正社員制度を実施します。
- 職場復帰1ヶ月前に勤務の短縮時間、土日勤務の可否、子供の預け先等きめ細かな相談を実施し配属を決定します。
- 保育所送迎、通院等家族のための半日・時間単位の休暇を認めます。
- 出産・育児で一旦退職した社員を再雇用する制度を導入します。



女性スタッフ Aさん

仕事と子育てを職場全体でサポートしています

育児休業・産休を取得後、短時間正社員制度等を利用して職場に復帰し、子育てと仕事を両立している先輩方が身近にいますので、将来に対する安心感があります。また、子供の急な病気や学校行事への参加なども、職場全体で協力し合っています。

益正グループからのメッセージ

育児休業から復帰後も安心して働けるよう、保育園の場所や時間を本人に確認しながら配属先や勤務時間を柔軟に決めています。また、希望があれば、すぐにフルタイム勤務の正社員としての復帰ではなく、短時間正社員制度を利用しての復帰や、パートタイマーとして雇用形態を変更しての復帰も可能です。仕事と子育ての両立に少しずつ慣れながら徐々に勤務時間や日数を増やしていき、その後、フルタイムの正社員に戻ることができます。

株式会社グリーンム

★情報通信業 北九州地区 ★JR南小倉駅 徒歩3分



◎住所:北九州市小倉北区弁天町1-8 ◎設立:1996(平成8)年8月 ◎資本金:1,000万円 ◎正社員数:46名
◎TEL:093-583-1002 ◎事業所:[本社]小倉 ◎HP:http://www.gleam-kokura.co.jp

1996年に創業したグリーンムは、「ソフトウェアで明日の医療に貢献すること」をモットーに、NST支援システム、栄養管理、献立作成、リハビリ支援など、様々な医療向けソフトウェアの開発・販売を行っている。顧客を全国各地に持ち、常に新しい技術・情報を積極的に取り入れながら事業拡大を図っている。

採用実績データ	2013	2014	2015
過去3年新卒採用実績	1名	1名	-
過去3年中途採用実績	3名	2名	3名



中途採用窓口	17年採用窓口	年間休日	残業時間	初任給	平均年齢	平均勤続年数
開設中	開設中	126日	10時間(月平均)	22.0万	33.0歳	5.3年

●●● 私たちの宣言内容 ●●●

- 育児休業規則を全員に配布し、育児休業制度等の周知を図ります。
- 育児休業を取得しやすいよう、休業中の代替職員を確保します。
- 定期的な情報交換を行い、休業中の不安をやわらげるようコミュニケーションを図ります。
- 社内に託児室を設置し(H27.1-)、小さな子供がいる社員も安心して働ける環境を作ります。



女性スタッフ Aさん

子育てしながら、安心して仕事に専念できます

代替要員の確保や社内託児室など育児支援の対策をしっかりと考えてくれているので、妊娠・出産によるやむを得ない退職や、子供が待機児童になるかもしれないという心配や不安がありません。安心して業務に専念できる職場環境だと思います。

グリーンムからのメッセージ

当社では、男女を問わず子育てを行う社員が仕事と家庭を両立できるよう、様々な取組を行っています。子供が小学校卒業まで利用可能な育児短時間勤務制度の導入や2014年に設立した社内託児室「グリーンムキッズステーション」など、出産・育児を経ても活躍できる環境づくりに努めています。こうした体制を整えてきたことで、離職率が低下し、人材育成コストを抑えることができています。

また、女性社員に「定年まで働ける」という意識が芽生え、以前に比べ、一人ひとりの業務に対する責任感が強くなったように感じられます。